



校長だより

呉市立市阿賀小学校
安宗 誠



最悪を想定して 行動する ~不審者侵入避難訓練~

本日、不審者の侵入を想定した避難訓練を実施しました。コロナ感染防止のため、教室とオープンスペースを仕切る中壁をはずしてある状況下、不審者が教室に迫るのを防御するために、すばやく移動式ロッカーでバリケードを速やかにつくる等、実際を想定し、最大限でき得ることには取り組もうとした訓練でした。

移動式ロッカーでバリケードをつくり、不審者の教室への侵入を防ぐ！



私から子供たちには、リモートにより次のような話をしました。

真剣に訓練をしている様子、大変立派でした。本校でも、突然不審者が校内に入ってきて、人を襲ったりすることがないとは決して言い切れません。みなさんもそう思っているからこそ、今日のような真剣な訓練態度だったのだと思います。いつも、最悪こんなことになるかもしれないと思って行動できることこそ、自分の命を自分で守れることにつながります。

さて、大阪の小学校で、いきなり刃物をもって入ってきた男に8名の児童が次々に刺され亡くなった事件から21年経ちます。21年経っても、大切な命を奪われた悲しみは決して癒えることはありません、当時現場にいた子供たちも既に社会人となっています。今なお、心に深い傷を負いながらも、亡くなった友達の分まで、精一杯生きようと自分に言い聞かせながら、過ごしている毎日だそうです。犠牲になられた方々に心からご冥福をお祈りいたします。そして、「自分の命を自分で守る」「人の命も自分が守る」ためにすべきことに日々真剣に取り組むことを改めて誓う1日にしましょう。

この夏は猛暑が続き、高齢のウサギの「ミクちゃん」もいささかハテ気味でした。そこで、松本先生（松本動物病院）にご相談し、しばらくの間、入院させていただきました。このたび、元気を取り戻し、久しぶりに阿賀小に帰ってきました。松本先生、本当にありがとうございました。

